

鯖江市公式ホームページリニューアル業務委託
CMS機能要件一覧

「必須」…必ず満たす機能 「推奨」…満たすと望ましい機能
「回答」…対応可の場合は「○」、対応不可の場合は「×」
代替案を記載する場合「△」

別紙2 機能要件一覧

機能詳細No.	対象	区分	要件名	要件機能	要件機能詳細	必須/推奨	回答	代替案
1	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	トップページデザイン作成	リニューアル後の鯖江市公式ウェブサイトのトップページデザイン案を作成すること。	「鯖江市」をイメージできるようなデザインを考案し、提案すること。 なお、他のサイトと類似したものや斬新すぎるものは原則として不可とする。	必須		
2	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能		トップページは、現状掲載しているメニュー(指定ページへのリンク)を踏襲する選択肢もあるが、構成を再考したり、新たに市が指定するメニューを設置することも想定している。	トップページのメニューについては、市と協議の上、追加・変更すること。	必須		
3	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能		本稼働後のデザイン変更が容易であること。	システム稼働後、トップページのデザインを変更する場合、軽微な修正の時はサイト管理者の操作による変更ができること。	必須		
4	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	サイト全体のデザイン	サイト全体として、標準化・統一化されたページデザインとすること。	ただし、一部のコンテンツについては、異なるデザインで表示することができること。	必須		
5	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	インデックスページの基本デザイン	インデックスページ内にある各コンテンツページへのリンクには、それぞれ説明文を設定できること。	インデックスページの各コンテンツページへのリンクには、それぞれ数行程度の説明文を設定できること。	必須		
6	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能		インデックスページには、他のカテゴリのコンテンツもリンクを設定できること。	コンテンツは一つのカテゴリのインデックスページのみへ掲載できるだけでなく、複数のカテゴリを設定して各インデックスページに掲載できることとする。	必須		
7	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	詳細ページ(コンテンツページ)の基本デザイン	詳細情報ページ(最終階層で表示するもの)のデザインは、トップページのページデザインと整合が取れていること。	ただし、サイト管理者が許可した場合にのみ、作成者が異なるデザインを作成することができること。	必須		
8	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能		本稼働後のデザイン変更が容易であること。	ヘッダ・フッタのデザインは、市と協議の上作成すること。	必須		
9	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能			システム稼働後、デザインを変更する場合、軽微な修正の時は、サイト管理者の操作による変更ができること。	必須		
10	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	「新着情報」の表示	更新したお知らせ情報のうち、サイト管理者または作成者が選択した情報を「新着情報」として、トップページに表示する機能を持つこと。	トップページに表示する「新着情報」への表示件数は10件程度を想定すること。なお、最終的な表示件数は、トップページデザインの確定と併せて行うものとする。 また、表示数、表示順の変更が行えることとする。	必須		
11	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	イベント情報の表示	更新した全てのイベント情報のうち、日付が新しい情報から一定件数をトップページに「イベント情報」として表示すること。	トップページに表示する「イベント情報」への表示件数は10件程度を想定すること。なお、最終的な表示件数は、トップページデザインの確定と併せて行うものとする。 また、表示数、表示順の変更が行えることとする。	必須		
12	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	イベントカレンダーの表示	市が指定する掲載場所にイベントカレンダーを表示すること。	イベントカレンダーの表示形式は月単位のカレンダー形式とする。 日付の欄に直接、イベント内容へのリンクを表示すること。	必須		
13	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能			カレンダー機能については、特定のコンテンツまたはページにおいても、単独での使用を可能とすること。不可能であれば、代替案を示すこと。	必須		
14	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	サイトマップ	サイトマップを設けること。	サイトマップを自動で生成できること。	必須		
15	閲覧者向け	デザイン性・視認性・利便性の向上機能	画面の印刷	閲覧者が画面を適切に印刷できること。	印刷時に画面が見切れることなく印刷できること。	必須		
16	閲覧者向け	情報検索性の向上	情報検索パターン	複数のパターンにより、詳細情報ページ(最終階層で表示するもの)を検索することができること。	詳細情報ページ(最終階層で表示するもの)を検索する方法は、分野別・テーマ別・場面別などにより実現すること。	必須		
17	閲覧者向け	情報検索性の向上	情報検索プロセス短縮	主要な情報(特に手続き、イベント情報)については、トップページから、できるだけ短い経路でアクセスすることができること。	主要な情報(特に手続き、イベント情報)については、トップページから、概ね3クリック以内で詳細情報ページを表示することができる構成を提案すること。 その他の情報については、クリック数が5回程度までとすること。	必須		
18	閲覧者向け	情報検索性の向上	各種ナビゲーションの充実	トップページを除く全てのページを対象として、分かりやすいナビゲーションを表示すること。	表示しているページが、サイト内においてどの階層なのか容易に分かるような「パンくずリスト」を設定すること。	必須		
19	閲覧者向け	情報検索性の向上		戻るリンクを設定すること	トップページへ戻るリンクを設定すること。	必須		
20	閲覧者向け	情報検索性の向上		全体的なナビゲーション(いわゆるグローバルナビゲーション)機能を有すること	サイト全体として、トップページのデザインに対応した共通のナビゲーションを表示すること。	必須		
21	閲覧者向け	情報検索性の向上		階層ごとの補完的なナビゲーション(いわゆるローカルナビゲーション)機能を有すること	同階層の一覧を表示する等の補完的なナビゲーションを表示すること。	必須		
22	閲覧者向け	情報検索性の向上		表示しているページと類似しているページの見出しを表示すること。(インデックスページは対象外)	表示しているページと類似する、サイト内に存在するページをナビゲーションに表示すること。	必須		
23	閲覧者向け	情報検索性の向上			各詳細ページ内に「このページを見た人はこんなページも見ています」のような案内及びリンク一覧を表示できること。	推奨		
24	閲覧者向け	情報検索性の向上	サイト内検索	サイト内検索を組み込むこと	サイト全ページを対象にサイト内検索を設け、GoogleまたはGoogleと同等の検索ができるサービスが利用できること。 生成AI検索など有料サービスを導入可能なCMSであること。	必須		
25	閲覧者向け	情報検索性の向上				必須		
26	閲覧者向け	情報検索性の向上			将来的に生成AI検索など有料サービスの利用を取り辞めた際も、CMSの基本となる検索機能は維持できるなど拡張性を有すること。	必須		
27	閲覧者向け	情報検索性の向上			サイト内検索は、子育て支援ネット、さばえおしい応援団サイト、さばかん、西山動物園のサブサイトにも設けること。	必須		
28	閲覧者向け	情報検索性の向上	静的なHTMLファイルの生成	公開するURLが静的なHTMLであること。	判読不可能な文字を含むものや文字数が多すぎるURL(いわゆる動的なHTML)は不可とする。	必須		
29	閲覧者向け	情報検索性の向上			生成されるHTMLは静的なものとし、動的なものの表示は不可とする。ただし、公開サーバ側で動的に生成されるものがある場合、備考欄もしくは別紙に記載してください。	必須		
30	閲覧者向け	情報検索性の向上		任意のURLが使用できること。	各ページのURL(ファイル名)は、コンテンツ作成時に作成者にて設定できること。	必須		
31	閲覧者向け	外国語による情報発信機能	外国語の情報掲載容易性	外国語による情報の掲載が支障なくできること。	自動翻訳機能を提供すること。対象言語は、10言語以上(英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語を含む。)とする。	必須		
32	閲覧者向け	外国語による情報発信機能			自治体でよく使用される用語を多数登録した自治体向け専用辞書を用意すること。	必須		
33	閲覧者向け	外国語による情報発信機能			鯖江市特有の固有名詞や専門用語を辞書登録できること。	必須		
34	閲覧者向け	外国語による情報発信機能			サイト自動翻訳など有料サービスを導入可能なCMSであること。	必須		
35	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能	バリアフリー対応	JIS規格に準拠したものとすること。	JIS X 8341-3:2016の「AおよびAA」項目は全て満たすこと。	必須		
36	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能	テキストの大きさや色の変更方法	閲覧者が任意に、テキスト文字の拡大・縮小を変更できること。	ブラウザ環境に依存せずテキスト文字の拡大・縮小、色の変更が可能であること。支援技術を用いなくても、テキストのサイズを200%まで変更できること。	必須		
37	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能	音声読み上げ機能への対応	閲覧者が任意に使用できる音声読み上げ機能を有すること。	原則として閲覧を支援するためにソフトを導入し対応、実現すること。 対応ブラウザは、Microsoft Edge/Chrome/Firefox/Safariとし、インストールなく使えること。	必須		
38	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能			音声読み上げソフトの利用者に配慮した、共通メニューの読み飛ばしができるソースが自動生成されること。	必須		
39	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能			複数の音声読み上げソフトに対応できるように、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。	必須		
40	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能			音声読み上げの内容は振り仮名表示で表示されるものと同じ内容であること。	必須		
41	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能			文字の拡大・縮小、白黒表示、色の反転表示、音声読み上げ、振り仮名表示は、一つのコントローラなど一連の動作で利用者が操作できるよう、操作ボタンの配置や操作方法に配慮すること。	必須		
42	閲覧者向け	アクセシビリティ向上機能	アクセシビリティ向上機能支援ツールへの対応	閲覧者が任意に使用できる「やさしい日本語」自動変換機能を有すること。	国の「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」および同「研修のための手引」に準拠する、「やさしい日本語」自動変換機能を導入可能なCMSであること。	必須		

鯖江市公式ホームページリニューアル業務委託
CMS機能要件一覧

「必須」…必ず満たす機能 「推奨」…満たすと望ましい機能
「回答」…対応可の場合は「○」、対応不可の場合は「×」
代替案を記載する場合「△」

別紙2 機能要件一覧

機能詳細No.	対象	区分	要件名	要件機能	要件機能詳細	必須/推奨	回答	代替案
43	閲覧者向け	コンテンツ評価機能	コンテンツ評価機能	各詳細ページの下部に、コンテンツ評価機能を設置する	コンテンツ評価機能では、各コンテンツの満足度および意見を収集することを可能とする。 コンテンツ評価機能は詳細ページごとに設定が行えるものとする。	必須		
44	閲覧者向け	モバイルサイトによる情報発信機能	スマートフォン向けサイト掲載情報	容量制限ができること	データ容量が大きい場合など、携帯サイトでの表示特性に適さないデータのチェック機能があること。	必須		
45	閲覧者向け	モバイルサイトによる情報発信機能		通常のコンテンツ作成と同時に、スマートフォン向けに表示する情報も自動的に生成することができること。	PC版として作成したコンテンツは基本的に全てスマートフォン向けに表示ができること。	必須		
46	閲覧者向け	付加サービス	RSS機能	RSSの発信機能を持つこと。	RSSによる発信を行うページの選択、またはカテゴリの設定について、システム導入時に設定ができること。システム導入後に、RSSを発信するページの追加・削除については、サイト管理者により設定変更ができること。	必須		
47	閲覧者向け	付加サービス		設定したコンテンツのRSS自動生成	設定したコンテンツについては、RSSの自動生成ができるようにすること。	必須		
48	閲覧者向け	付加サービス	お問い合わせフォーム	サイト管理者がお問い合わせフォームの追加・修正を行うことができること。	各課宛に専用お問い合わせフォーム(アドレス非公開)を用意すること。	必須		
49	閲覧者向け	付加サービス			閲覧者がお問い合わせフォームに入力すると、サーバ上でお問い合わせの該当課にメールされ、同時に固定の課(ホームページ担当課)にもメールされること。	必須		
50	閲覧者向け	付加サービス			SSL通信でフォームメールが利用できること。	必須		
51	閲覧者向け	付加サービス			利用者が入力内容を確認できること。	必須		
52	閲覧者向け	付加サービス			GUIでフォームを作成し、入力項目や必須項目、文字数制限の指定ができること。	必須		
53	作成者向け	ページ作成支援機能	クライアント環境	現行市の環境で使用しているWEBブラウザでシステムが正常に動作すること。	以下の環境で動作を保証すること。 ・OS:Windows11以上 ・ブラウザ:Microsoft Edge/Chrome/Firefox/Safari(最新版) なお、今後のOSおよびブラウザのバージョンアップにも動作保障するようCMSの対応を行うこと。	必須		
54	作成者向け	ページ作成支援機能	データ入力の操作性	データ入力の操作性が高いこと。	コンテンツ作成時は、ウェブアクセシビリティ等の基準に合ったページを、HTML言語を意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性で作成できること。また、ブロックが用意されており、その中に入力するような形式とする。 なお、白紙の作成画面からデータ入力をしていくような操作のものは、不可とする。	必須		
55	作成者向け	ページ作成支援機能	テンプレートの作成	テンプレートを作成すること。	JIS X 8341-3:2016に対応したHTMLファイルが生成できるテンプレートを作成すること。	必須		
56	作成者向け	ページ作成支援機能			納品後にサイト管理者や他の業者がコンテンツ領域の追加削除や配置変更等容易に行えるテンプレートであること	必須		
57	作成者向け	ページ作成支援機能			納品後に担当者や他の業者が新たにテンプレートを作成できること。	必須		
58	作成者向け	ページ作成支援機能			テンプレート数は60点程度を目安とするが、特に上限は設けない。テンプレートを形成する個々の入力部分(パーツ)がそれぞれJIS規格に対応できており、各々のパーツを組み合わせてさまざまなテンプレートを柔軟に作成できること。	必須		
59	作成者向け	ページ作成支援機能			コンテンツごとに使用可能なテンプレートを選択できること。	必須		
60	作成者向け	ページ作成支援機能			本文部分は、通常、サイト管理者により編集に制限をかけた状態で使用できること(ただし、編集自由度の高いテンプレートも別途用意し、HTMLタグを利用して編集することが可能なものとする)。	必須		
61	作成者向け	ページ作成支援機能	タイトル入力	編集画面からHTMLソースを触らずにコンテンツ作成が可能であること。	作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡単な操作によって、title要素の内容を入力・変更できること。	必須		
62	作成者向け	ページ作成支援機能	リンク設定		作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡単な操作によって、リンクの設定ができること。	必須		
63	作成者向け	ページ作成支援機能	リンク切れの通知		内部リンク先が公開終了となる数日前に、リンク元ページ作成者にメールで通知を行うこと。また、リンク修正を行わなかった場合、テキスト表示に自動的に変更すること。	必須		
64	作成者向け	ページ作成支援機能	文字色変更		作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡単な操作によって、文字色の変更を行えること。	必須		
65	作成者向け	ページ作成支援機能	表示位置変更		作成者が、HTMLソースを編集することなく、簡単な操作によって、文章や画像の配置(右寄せ、左寄せ、中央揃え、左右インデントなど)を行えること。	必須		
66	作成者向け	ページ作成支援機能	データ入力の操作性	編集画面の構造が簡易であり、カスタマイズ可能であること。	詳細ページを構成する各部分(文章・画像等)を部品化し、これらの追加・削除等、市と協議し最適化できること。 【例】 テンプレートごとに、よく使うパーツを組み合わせて部品化しておくこと。例えば「フォトギャラリー」ページの場合、「画像」+「文章」という組み合わせが多いので、「画像」+「文章」を予め一つのセットにしておくことで、作成作業の効率化やページの体裁を揃えやすくなるようにできること。	必須		
67	作成者向け	ページ作成支援機能	コンテンツ作成補助機能の充実	コンテンツ作成において、基本となる機能は標準的に備えていること。	下記の補助機能については、標準的に備えていること。 ・太字 ・色(システム側で設定した色のみを選択) ・ルビ ・リスト表記(順序付き、順不同のリストが作成できること) ・文字リンク設定 ・ページ内リンク設定	必須		
68	作成者向け	ページ作成支援機能		入力作業を効率化する機能が充実していること。	テンプレートに沿って入力を行うことにより、コンテンツが作成できること。	必須		
69	作成者向け	ページ作成支援機能			ページのレイアウトおよびデザイン情報は、コピーして再利用ができること。	必須		
70	作成者向け	ページ作成支援機能			作成途中のコンテンツを一時保存でき、再ログイン後に再開できること。	必須		
71	作成者向け	ページ作成支援機能			作成したコンテンツの置き場を、ディレクトリー一覧などから選択することにより、簡易に行えること。	必須		
72	作成者向け	ページ作成支援機能			一度の作成で、PC用とスマホ用のコンテンツが作成できること。	必須		
73	作成者向け	ページ作成支援機能			Word・Excel・PDFファイル等の登録時に、ファイルの種類、容量を自動的に表示できること。	必須		
74	作成者向け	ページ作成支援機能		利用しやすいプレビュー機能があること。	コンテンツ作成途中に、簡単な操作でページの完成イメージ(プレビュー)を表示できること。また、作成画面に戻ることも容易な操作であること。	必須		
75	作成者向け	ページ作成支援機能			プレビューは、実際と同じようにリンク先のページも表示すること	必須		
76	作成者向け	ページ作成支援機能			プレビュー画面は、PC画面とスマホ画面に最適化されたものがあること。	必須		
77	作成者向け	ページ作成支援機能			コンテンツ作成時、アクセシビリティ支援ツール等を用いて、画面の拡大・縮小、白黒表示、色の反転表示、音声読み上げ、ルビ振りの確認ができること。	必須		
78	作成者向け	ページ作成支援機能		コンテンツの更新日は、自動もしくは手動で入力できること	コンテンツ作成者の判断により選択できること	必須		
79	作成者向け	ページ作成支援機能		表の作成およびデータ入力ができること。	作成者が、入力画面上で簡単な操作により表の作成および表内へのデータ入力、編集ができること。	必須		
80	作成者向け	ページ作成支援機能			公開中のHTMLに掲載されている表をコピーして、入力画面へ貼り付け、編集できること。	必須		
81	作成者向け	ページ作成支援機能		Excelからの表の取り込みについて、作成者が簡単な操作で行えること。	その際、取り込んだ表のページに対する大きさ(%)を変更できること。	必須		

鯖江市公式ホームページリニューアル業務委託
CMS機能要件一覧

「必須」…必ず満たす機能 「推奨」…満たすと望ましい機能
「回答」…対応可の場合は「○」、対応不可の場合は「×」
代替案を記載する場合「△」

別紙2 機能要件一覧

機能詳細No.	対象	区分	要件名	要件機能	要件機能詳細	必須/推奨	回答	代替案
82	作成者向け	ページ作成支援機能			複雑な表などの理由によりレイアウトが崩れる場合、自動的に見やすい形に一括成型する機能を持つこと。	必須		
83	作成者向け	ページ作成支援機能			表の見出し列。見出し行、タイトルなどを設定できること。	必須		
84	作成者向け	ページ作成支援機能		画像データの管理、登録などが容易にできること	下記の機能は標準的に備えていること。 ・画像ファイルを作成者のパソコンから容易に登録できること ・画像データへキャプションを設定できること ・画像データの表示位置の指定ができること ・CMS上で、画像データのトリミングが行えること ・CMS上で、画像表示サイズの変更が行えること ・画像のリンク設定、ウィンドウ設定が行えること	必須		
85	作成者向け	ページ作成支援機能			画像データを、予めCMSに格納しておき、全作成者が共用できるような仕組みを取る。	必須		
86	作成者向け	ページ作成支援機能		Wordもしくはテキスト及びhtmlのデータをCMSの入力データとして使用できること。	Wordもしくはテキスト及びhtmlのファイルをCMSに取り込み、CMSの入力データとして使用できること。	必須		
87	作成者向け	ページ作成支援機能			Wordもしくはテキストの文書について、文面をコピー&ペーストすることにより、そのままCMSの入力データとして使用できること(ただし、画像は除く)。	必須		
88	作成者向け	ページ作成支援機能		ExcelのデータをCMSの入力データとして使用できること。	ExcelのファイルをCMSに取り込み、CMSの入力データとして使用できること。	必須		
89	作成者向け	ページ作成支援機能			Excelの文書や表について、文面等をコピー&ペーストすることにより、そのままCMSの入力データとして使用できること(ただし、画像は除く)。	必須		
90	作成者向け	ページ作成支援機能		リンク設定が容易かつ使いやすいこと。	コンテンツを同時に複数作成する際、未承認のコンテンツへのリンク先の設定を可能にすること。	必須		
91	作成者向け	ページ作成支援機能			CMSサイト内について、リンク先のページが削除された場合にリンク元が自動的にテキスト表示(リンクなし)に修正されること。	推奨		
92	作成者向け	ページ作成支援機能			リンクにtarget="blank"を設定できるようにすること。 なお、新規ウィンドウが開くことを必ず明示すること。	必須		
93	作成者向け	ページ作成支援機能	アクセシビリティ向上機能	W3C文法準拠	ページ作成の際に作成者がHTMLソースの編集を行ったり、制限を設けたりせずに、簡単な操作によって、W3C標準の文法使用に則ったHTML(W3Cが提供する文法チェッカーでエラーが出ない)で、ページが作成できること(構造化されていないワード文書の書き換え等によるページ作成を想定)。	必須		
94	作成者向け	ページ作成支援機能			画像には代替テキストを設定できること。	必須		
95	作成者向け	ページ作成支援機能		作成者が入力した情報を登録する時に、アクセシビリティをチェックする機能があること。	主なチェック項目として予定しているものは、以下のとおり。 ・画像の代替テキスト有無 ・日付、時間等表記 ・全角英数字、半角カナ ・機種依存文字のチェックおよび変換 ・全角スペースのチェック ・titleの入力	必須		
96	作成者向け	ページ作成支援機能		アクセシビリティチェックの結果に対して、警告画面を表示する機能があること。	チェック結果およびどのように修正すればよいかを作成者に説明する内容を、警告画面に表示すること。なお、この「警告画面」は画面見本を明示すること。	必須		
97	作成者向け	ページ作成支援機能		アクセシビリティをチェックし、指定した内容に自動的に修正する機能があること。	自動修正は、サイト管理者で使用する可否を設定できること。 修正した部分・内容およびその理由を表示すること。 あえて表記する場合も想定し、変換確認画面などで変換・非変換が選択できること。	必須		
98	作成者向け	ページ作成支援機能	HTML取り込み	Googleマップ等のページ内埋め込みに対応すること	Googleマップ等をページ内に埋め込めるよう、HTMLタグの取り込みも可能とする。	必須		
99	作成者向け	ページ作成支援機能	データ管理の容易性	コンテンツの更新履歴一覧が表示できること。	コンテンツの更新履歴が一覧表で確認できること。また、一覧画面から直接コンテンツ編集に遷移できること。	必須		
100	作成者向け	ページ作成支援機能			担当者がアクセス権のあるコンテンツの進捗状況を、一覧で表示できること。なお管理部門は、全部署の情報を確認できること。その際には、部署別や日付順など抽出や並び替え等ができること。	必須		
101	作成者向け	ページ作成支援機能	コンテンツ情報管理	情報の属性設定が容易に設定できること。	コンテンツ作成時に、トップページへのリンク掲出(新着情報など)を選択できること。	必須		
102	作成者向け	ページ作成支援機能			ページごとの問い合わせ先を設定できるようにすること。問い合わせ先は任意に入力できるようにすること。	必須		
103	作成者向け	ページ作成支援機能			検索用キーワードをコンテンツに設定できること。	必須		
104	作成者向け	ページ作成支援機能		複数の分類情報の設定ができること。	詳細ページの情報について、複数の分類情報を設定できること。 【例】 3月3日開催セミナーのコンテンツを「セミナー」と「ニュース(お知らせ)」の両方のカテゴリに関連付けることが可能であること。	必須		
105	作成者向け	ページ作成支援機能	正しい文法によるHTML情報の自動生成	CSSによる文書構造を持ったページを自動作成できること。	作成者が意識しなくても、HTMLで文書構造を指定し、tableタグを利用せずにCSSによって表示方法を指定するページを作成することができること。	必須		
106	作成者向け	ページ作成支援機能		適正なHTML文法に従ったタグを自動的に設定できること。	見出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、自動的に設定されること。見出しタグについては、順序が異なるようにすること(<h2>より前に<h3>が記述されないこと)。	必須		
107	作成者向け	ページ作成支援機能		ナビゲーション(パンくずリスト)を自動的に生成し挿入すること。	ナビゲーション機能(サイトマップ・パンくずリスト)を自動生成すること。	必須		
108	作成者向け	ページ作成支援機能		不要なタグを作成しないこと。	コメントタグの使用は必要最小限度とし、不要なものは挿入しないこと。	必須		
109	作成者向け	ページ作成支援機能			Word、Excelからデータを取り込んだ時に、アプリケーション固有のタグを挿入しないこと。	必須		
110	作成者向け	ページ作成支援機能	階層構造設定	適切な階層構造と拡張性を持っていること。	サイトの階層は3段階(トップページを含めない)以上あり、市の指示により、階層を増やすことができること。	必須		
111	作成者向け	ページ作成支援機能	コンテンツ公開・終了処理	システム管理によるコンテンツの公開または終了が行えること。 ※公開とは、CMSサーバで作成・修正したコンテンツをWEBサーバにアップロードすることをいう。	管理部門、作成部門のどちらでも、指定した日時に自動でコンテンツの公開または終了が行えること。	必須		
112	作成者向け	ページ作成支援機能			公開期間を無期限とする設定が行えること。	必須		
113	作成者向け	ページ作成支援機能	コンテンツ確認	登録したコンテンツの「公開期間」「公開先」「承認履歴」等を確認できること	コンテンツの一覧画面から確認できること。	必須		
114	作成者向け	ページ作成支援機能		コンテンツの詳細及びプレビューをPDFファイルとしてダウンロードできること	CMS画面上から、プレビュー画面のPDFをダウンロードしてPCに保存できること。	推奨		
115	作成者向け	ページ作成支援機能	コンテンツデータ検索	登録済みのコンテンツをキーワード検索できること。	登録済みのコンテンツを検索する手段として、コンテンツ内の文章をキーワード検索でヒットさせることができること。名称変更などが発生した場合に、該当コンテンツを一覧抽出させることを想定している。	必須		
116	作成者向け	ページ作成支援機能	ゴミ箱機能	コンテンツを削除した際、一旦ゴミ箱に格納され、万が一の場合作成者自身が復元することができること。	コンテンツを削除した際、一旦ゴミ箱に格納され、万が一の場合作成者自身が復元することができること。	必須		
117	作成者向け	ページ作成支援機能	SNS連携	SNS連携が可能であること	ページ公開を行い、かつ新着情報に掲載した場合には、職員の任意でLINEに掲載できること。なお、投稿内容は編集でき、画像もつけられること。なお、本市が導入するLINE公式アカウント運用ツール「KANAMETO」とCMSとの連携は行うこと。	必須		
118	作成者向け	ページ作成支援機能			ページ公開を行い、かつ新着情報に掲載した場合には、職員の任意でSNS(Facebook、Xなど)に掲載できること。なお、投稿内容は編集でき、画像もつけられること。(外部サービス使用可)	推奨		

鯖江市公式ホームページリニューアル業務委託
CMS機能要件一覧

「必須」…必ず満たす機能 「推奨」…満たすと望ましい機能
「回答」…対応可の場合は「○」、対応不可の場合は「×」
代替案を記載する場合「△」

別紙2 機能要件一覧

機能詳細No.	対象	区分	要件名	要件機能	要件機能詳細	必須/推奨	回答	代替案	
119	作成者向け	承認機能	承認機能の充実	承認階層が多段階および可変であること。	作成担当者から発して5段階以上の設定ができるようにし、サイト管理者が必要に応じて、段階の増減を行えること。	必須			
120	作成者向け	承認機能		承認依頼がメールを利用して行えること。	承認依頼・差し戻し時に、メールによる連絡を自動で行えること。送らないことを選択も可能とすること。	必須			
121	作成者向け	承認機能			承認者は、送られてきた承認依頼メールに記載されたURLから、直接、決裁を行う画面にアクセスすることができること(この時に、ユーザアカウントやパスワード等のログイン作業について、要・不要を明記すること)。	必須			
122	作成者向け	承認機能			差し戻し、取り下げができること。	承認者による差し戻し、作成者による取り下げが容易に行えること。また、コメントが入力できること。	必須		
123	作成者向け	承認機能				承認依頼中のコンテンツについて、差し戻しを行わなくても作成者が修正できること。	必須		
124	作成者向け	承認機能			承認ルートの設定を任意に行えること。	コンテンツの内容によって、承認ルートを変更または複数のルート選択を予め設定できるようにすること。	必須		
125	作成者向け	承認機能			作成者が用途に応じて承認者を任意に選択できること。	予め設定された承認ルート以外に、上長不在時の代理承認やコンテンツ内容によって複数の上長を経由できるなど、個人単位で承認者を選ぶことが可能なこと。	必須		
126	作成者向け	承認機能			承認者による進行管理ができること。	承認者が、配下の組織に関する作成～承認～公開の進行状況などを管理することができること。	必須		
127	作成者向け	承認機能			環境設定をGUIで容易に行えること	主な環境設定について、管理者側でGUIによる設定変更が行えること。	必須		
128	管理者向け	管理者機能	管理者専用画面の充実	管理者専用の画面の運用について、市の指定により設定することができること。	システムの運用上、サイト管理者が必要とする作業について、制限を受けることなく作業を行えること。なお、市が必要とする作業の範囲等については、別途協議により決定する。	必須			
129	管理者向け	管理者機能		管理者専用のメニュー画面から、各種設定変更などの操作が容易にできること。	テンプレートの管理(テンプレートの追加・変更・削除など)ができること。	必須			
130	管理者向け	管理者機能			ユーザ情報の管理(ユーザID、パスワード管理など)および組織情報の管理(部署・施設名、問い合わせ先情報の管理など)ができること。	必須			
131	管理者向け	管理者機能			承認機能の管理(ワークフローの設定など)ができること。	必須			
132	管理者向け	管理者機能			登録情報の管理(カテゴリ情報の修正など)ができること。	必須			
133	管理者向け	管理者機能		管理機能の充実	操作履歴を管理することができること。	操作履歴を日付・時間・操作内容まで一覧表示により確認できること。また、これらの内容はCSVファイルによる外部出力ができること。	必須		
134	管理者向け	管理者機能			サイト管理者による承認状況管理ができること。	サイト管理者が、作成～承認～公開の進行状況などを管理する機能(全体の承認状況、公開非公開情報などが一覧で把握できる機能など)があること。	必須		
135	管理者向け	管理者機能			作成担当者への連絡ツールがあること。	ログイン画面上で、サイト管理者から作成担当者への情報提供表示ができること。	必須		
136	管理者向け	管理者機能			擬似的サイトの表示ができること。	日時を指定することにより、未来日時のサイトを擬似的に生成し、閲覧ができること。	推奨		
137	管理者向け	管理者機能			サイト管理者により、各種の権限設定が行えること。	サイト管理者により、ディレクトリごとにコンテンツの作成権限部署の設定ができること。	必須		
138	管理者向け	管理者機能			ユーザアカウントの設定について、管理部門で簡単に変更が行えること。	システムとして不可能の際には、緊急的な変更に応えられる内容を提案すること。	必須		
139	管理者向け	管理者機能			ユーザアカウントの設定について、市が指定する者に適切に付与できること。	ユーザアカウントについては、市が指定する数が設定できること。また個人単位だけではなく、部または課または係などの組織単位でも付与することができること。	必須		
140	管理者向け	管理者機能			ユーザアカウントおよびパスワードの形式は、市が指定する形式に変更できること。	桁数および使用可能文字は、市が指定したものを使用できること。	必須		
141	管理者向け	管理者機能		コンテンツの即時公開ができること。	即時公開(CMSサーバーからWEBサーバーへのアップロード)は、サイト管理者のみが実行できること。	必須			
142	管理者向け	管理者機能		WEBサーバーへの緊急的なアップロードが手動でおこなえること。	CMSの障害発生や災害時などにおいて、WEBサーバーへの緊急的なアップロードが手動で行えること。	必須			
143	管理者向け	管理者機能	コンテンツの更新	CMSサーバーからWEBサーバーへのコンテンツ配信(更新)が確実にできること。	配信(更新)時間および頻度は、市と協議の上決定する。	必須			
144	管理者向け	管理者機能				配信が失敗した場合には、サイト管理者へ警告する機能があること。なお、サイト管理者への警告の具体的な方法を明示すること。	必須		
145	管理者向け	管理者機能			日付を指定しない情報については、適宜更新できること。	公開の日時を指定しない場合は、承認の終わった段階または手動で更新できるようにすること。	必須		
146	管理者向け	管理者機能			生成時間を通常の実行時間とは別に設定できること	特定のディレクトリに対し、生成時間を通常の実行時間とは別に、日時分単位で設定できること。	推奨		
147	管理者向け	管理者機能	権限設定情報の一括変更	職員異動時期等において発生する一括変更は、市の管理者が行うこととする。	職員異動時期等において発生する一括変更は、市の管理者が行えるようにする。運用に関する具体的手順・方法については、マニュアル等で提示すること。	必須			
148	管理者向け	管理者機能				複雑で大掛かりな組織移動があり、市から対応依頼があった場合、追加費用なしで対応すること。その際、市から提供するデータについては別途協議とする。	必須		
149	管理者向け	管理者機能	リンク管理機能	サイト内リンク切れ防止	公開ページや画像等の素材を削除する際に、他のページから当該ページへ設定されているリンクについて事前に警告が出せること。	必須			
150	管理者向け	管理者機能			サイト内リンク切れの通知設定	内部リンク先が公開終了となる数日前に、リンク元ページ作成者が所属する組織宛てにメールで通知を行うこと。また、リンク修正を行わなかった場合、テキスト表示に自動的に変更することし、何日前から通知を行うか、設定ができること。	推奨		
151	管理者向け	管理者機能				リンク修正を行わなかった場合、テキスト表示に自動的に変更することし、何日前から通知を行うか、設定ができること。	推奨		
152	管理者向け	管理者機能			サブサイト単位でリンク切れ(いわゆる404ページ)を作成すること。	サブサイト単位でリンク切れ(いわゆる404ページ)を作成すること。その際のデザインについては該当サブサイトのデザインを引き継ぐものとする。	必須		
153	管理者向け	管理者機能			リンクチェック機能(外部リンク)を持つこと。	外部リンクはリンク切れを一括で確認し、チェック結果を一覧表示する機能があること(ただし、外部ページリンクに関しては、例外的なものは対象から除くものとする)。	必須		
154	管理者向け	管理者機能			リンク切れ情報を所属ごとに、メールで通知できること。	通知周期等については市と協議の上決定する。	必須		
155	管理者向け	管理者機能	データ管理機能	入力済データの管理が容易であること。	作成済みのコンテンツを個別またはまとめて、別のカテゴリに簡易に移せること。同時に関連して変更されるべきことも、自動的に変更できること。	必須			
156	管理者向け	管理者機能				インデックスに掲載される下位項目を、時系列で表示できること。	必須		
157	管理者向け	管理者機能				各インデックスに掲載される下位項目を、任意に並び替えができること。	必須		
158	管理者向け	管理者機能			不要コンテンツ履歴の一括削除が行えること。	不要となったコンテンツや公開期間が過ぎたコンテンツの履歴を一括削除できること。	必須		

鯖江市公式ホームページリニューアル業務委託
CMS機能要件一覧

別紙2 機能要件一覧

「必須」…必ず満たす機能 「推奨」…満たすと望ましい機能
「回答」…対応可の場合は「○」、対応不可の場合は「×」
代替案を記載する場合「△」

機能詳細No.	対象	区分	要件名	要件機能	要件機能詳細	必須/推奨	回答	代替案
159	管理者向け	管理者機能	バナー広告の管理	トップページのデザイン性を保ちつつ、下記の要件によりバナーの掲載ができること。	掲載数は、5～10件を想定すること。 1. バナーは、HTMLファイルに画像として埋め込んだ形で掲載すること。 2. バナーは、トップページについて、市が指定する位置に掲載すること。 3. 掲載期間を登録することにより、自動的に掲載開始、掲載終了を行うことができること。 4. バナーとして掲載する画像は、下記の種類のファイルが使用できること。 ※JPG、GIF(透過GIFおよびアニメーションGIF)、BMP、PNG	必須		
160	管理者向け	管理者機能	アクセスログ解析	サイト管理者によるアクセスログの解析が行えること。	機能として、アクセス数、検索キーワード、ページ経路などが、日別、月別で解析できる機能を設けること。また、Google Analyticsでの計測を可能とすること。	必須		
161	管理者向け	管理者機能	アクセス権の設定	管理単位の設定・変更	管理者が、部署ごとあるいはユーザーごとの、権限を付与する管理単位を設定できること。	必須		
162	管理者向け	管理者機能		管理単位ごとの権限制御	管理単位ごとに、作成で行えることや作業範囲等の細やかな権限設定ができること。	必須		
163	管理者向け	管理者機能		複数組織による管理コンテンツの共有	同一ディレクトリに対し、複数の組織/権限グループを設定できること。権限が付与されている組織以外のコンテンツは操作できないような運用を想定している。	必須		
164	管理者向け	管理者機能	緊急情報掲載	既設災害システムと災害情報のメールで連携し、緊急情報を掲載できること。	既設の防災システムからの緊急メールを受信し、メール本文の内容を本サイトの緊急情報エリアに掲載すること。	推奨		
165	管理者向け	管理者機能		html形式の緊急情報ファイルを転送し、緊急情報を掲載できること。	市で作成した緊急情報メッセージ(テキストファイル)を市役所の端末からCMSを使用して、本サイトの緊急情報エリアに掲載できること。その際のファイルはhtml形式とし、リンクを記述できるものとする。緊急情報エリアには、リンク表示できるようにすること。	必須		
166	管理者向け	管理者機能		職員の端末からメール送信の緊急情報を掲載できること。	本市の職員がスマートフォンなどの端末から専用のアカウントに送信し、メール本文の内容を本サイトの緊急情報エリアに掲載すること。	必須		
167	管理者向け	管理者機能		緊急情報のSNS連携	緊急情報に表示した内容は、SNS(LINE)にも掲載できること。なお、本市が導入するLINE公式アカウント運用ツール「KANAMETO」とCMSとの連携は行うこと。	必須		
168	管理者向け	管理者機能			緊急情報に表示した内容は、SNS(Facebook、Xなど)にも掲載できること。(外部サービス使用可)	推奨		